

平成30年度 九州地方整備局 新技術評価技術一覧

【事後評価】

評価区分の定義(活用効果評価)

実施要領 3.5 新技術の活用促進

評価区分	内 容
活用促進技術	活用効果評価において、それぞれの評価会議が選考し指定するもの <選考要件> イ 総合的に活用の効果が優れている技術 ロ 特定の性能又は機能が特に優れている技術 ハ 特定の地域のみで普及しており、全国に普及することが有益と判断される技術 ニ その他評価会議が選考し指定する技術
-	上記以外

	技術名称※	評価区分	継続調査	備考
1	地盤改良の可視化システム 3D-ViMaシステム【TH-160004】	-	継続調査の必要性なし -VE	分類: 深層混合処理工
2	道路管理画像を用いた路面評価システム 【CG-170010】	活用促進技術	継続調査の必要性なし -VE	分類: 分析・予測システム
3	蔵衛門Pad 【KTK-160024】	活用促進技術	継続調査の必要性なし -VE	分類: 施工管理
4	センサー基礎マットレス工法 【QS-160026】	活用促進技術	継続調査の必要性なし -VE	分類: 軟弱地盤処理工